



## 姉妹都市・バス市へ訪問団派遣

# 中学生が学んできたこと

米国メイン州バス市への訪問団が7月20日から30日の日程で訪米しました。参加した生徒たちの体験談を紹介します。 ※本人の作文から引用しています。



三上 萩 夕君 (木造中3年)

カヤックに乗ってバス市の壮大な自然を体験したのが印象に残りました。ホストファミリーとの何気ない会話も本当に楽しかったです。

栗田 黎君 (木造中3年)

人見知りだったけど、10日間日本語が通じない家で寝泊まりしたことで、少し改善した気がします。将来は外国に一人で行ってみたいです。



成田 夢 唯さん (森田中3年)

ホストファミリーとの交流では、アメリカ人から見た日本の魅力など、聞きたかったことをたくさん聞くことができました。



安田 光君 (木造中3年)

両親も日本のこともすっかり忘れて、心だけはアメリカ人になっていた。とても楽しかった。感動した。もう忘れられない。



工藤 愛 加さん (稲垣中3年)

アメリカとって思い浮かぶのは「自由」。体験を通じて、自由には責任がつきもので、決まりを守ってこそあるのだと改めて実感しました。



工藤 彩 那さん (稲垣中3年)

この10日間はめまぐるしく、本当にあつという間でした。若い頃にアメリカで学ぶということは、何物にも代えがたい体験だと感じました。



佐々木 愛 董華さん (車力中3年)

普段から重点を置いている英語の発音を「アメリカ人みたい」と褒められ、とっても嬉しかった。自信が持て、話すのが楽しくなりました。



野宮 子 瑚さん (車力中3年)

体験後は、格段に英語を話せるようになり、自分をもっと出そうと行動できるようになりました。アメリカに行ったからこそその成長です。



工藤 桜さん (車力中3年)

アメリカの習慣や生活、英語について、アメリカでしか体験できないことを通じて学ぶことができ本当に良かったです。



會津 侑 南さん (車力中3年)

Yesだけでなく「Yes, please」。Noだけでなく「No, thank you」。言葉を加えて心を込める大切さは日本もアメリカも同じだと思いました。



松橋 健 留君 (車力中3年)

はじめは不安でしたが、英語を話す楽しさ、文化の違い、仲間との絆など、たくさんのことを学びました。アメリカが大好きになりました。



佐藤 友 省君 (車力中3年)

たくさんの発見があった国際交流。バス市の人はたくさんのおもてなしをしてくれて、つがる市とバス市の絆の深さを感じました。



30日 (火)	29日 (月)	28日 (日)	27日 (土)	26日 (金)	25日 (木)	24日 (水)	23日 (火)	22日 (月)	21日 (日)
つがる市到着	バス市出発	ホストファミリーデー、さよならパーティー	ホストファミリーデー	カヤック体験、ロブスタ―漁、文化体験交流	チェウオンキー農場見学、メイン州植物園・水族館見学、ブースベイ散策	ピックルボール大会、ワイルドドライブ公園見学、チョコレート工場見学、フリーポート散策	バス市役所見学、商店街散策、ブランズウィック散策、ダンス教室、ボードウィン大学見学	メイン州知事表敬訪問、バス市長表敬訪問、メイン州立海洋博物館見学、ウエルカムパーティー、ポートクルーズ	バス市到着、それぞれのホストファミリーの自宅へ

## 旅の行程



メイン州知事を表敬訪問。絆を深める大役を務めました

今年のメンバーは中学生12人、引率者3人の計15人。  
生徒たちは、ホストファミリーとの触れあいを重ねながらアメリカの歴史や文化、空気に接し、自らの視野を広げて帰ってきました。



名物ロブスター漁のお手伝い



バス市が誇る造船の歴史と技術の変遷を学ぶ



カヤック体験



別れを惜しむ滞在最終日



最後の交流会、さよならパーティー



日本の文化を伝える体験交流